

授業科目	* 成人看護学概論				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21309J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	大嶋 満須美、高橋 甲枝							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業はあらゆる健康レベルの成人期にある人々を対象とする看護に関する導入的科目である。授業では、実務家教員が経験を踏まえ成人期にある人々の特徴(ライフサイクルにおける成長・発達)、成人期の人々に関わる保健・医療・福祉における動向、成人期にある人々の環境と健康、看護の特性、及び、看護に活用される理論・モデルについて概説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 成人期にある人々の特徴(発達課題を含む)を述べることができる。(DP1-2)</li> <li>2. 成人期にある人々のおかれている環境が健康に及ぼす影響を述べることができる。(DP1-2)</li> <li>3. 成人期にある人々の健康に関わる保健・医療・福祉システムの概要を述べることができる。(DP1-2)</li> <li>4. 成人期にみられる健康障害の特徴を列挙できる。(DP1-2)</li> <li>5. 健康レベルに対応した看護方法の特徴を述べることができる。(DP1-2,2-1)</li> <li>6. 成人期にある人々の看護に活用できる関連理論・モデルを述べることができる。(DP1-2,2-1)</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	85	0	5	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	60			10			70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	25		5				30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

目標1～6の内容を総合的に理解し、各内容について80～90%説明できる		目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について70～80%は説明できる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	<p>テーマ:成人看護学概論と位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人看護学の対象論</li> <li>・ライフサイクルの中での成人の位置づけ</li> <li>・成人の発達段階 (大嶋)</li> </ul>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人の位置づけを調べておく。</li> <li>・成人の発達段階に関する理論を学習する。</li> </ul>	<p>課題達成時間 60分</p>
2	<p>テーマ:成人の保健・医療・福祉における動向と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成人保健の動向</li> <li>・成人期における健康障害の特徴</li> </ul> <p>がん、ストレス、自殺、感染症、自己免疫疾患、リウマチ・アレルギー、職業性疾患、生活習慣などに関連した健康障害</p> <p>(大嶋・高橋)</p>	<p>課題に基づいたグループ学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人各期の特徴と健康問題について学習する。</li> <li>・「国民衛生の動向」、テキストなどを参考に成人保健の動向を把握しておく。</li> </ul>	<p>課題達成時間 60分</p>
3	<p>テーマ:成人期にある人の健康と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループの成果発表</li> <li>・一次・二次・三次予防の現状と対応</li> </ul> <p>(大嶋・高橋)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの発表</li> <li>・パワーポイント資料とテキストを用いた講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回のグループ学習の成果をPPで3枚程度にまとめ発表できるよう準備する。</li> <li>・健康の定義について再度確認しておく。</li> <li>・一次・二次・三次予防について学習する。</li> <li>・「健康日本21」の施策や目標について学習する。</li> </ul>	<p>題達成時間 60分</p>
4	<p>テーマ:健康レベルにおける特徴と援助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康レベルの枠組みと特徴</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康のレベルと状況に応じた看護ケアの方法について学ぶ。</li> </ul>	<p>題達成時間 60分</p>
5	<p>テーマ:成人・老年期看護に活用される理論・モデル</p> <p>セルフケア論、自己効力感、エンパワーメント、アドヒアランス/コンプライアンス (大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セルフケアの概念を復習しておく。</li> <li>・ストレス・コーピング、危機理論について学習しておく</li> </ul>	<p>題達成時間 60分</p>
6	<p>テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル</p> <p>ストレス・コーピング、危機理論、病みの軌跡 (高橋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病みの軌跡の概念と看護への応用について学習する。</li> </ul>	<p>題達成時間 60分</p>
7	<p>テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル</p> <p>セルフマネジメント、成人教育理論(アンドラゴジー)、家族看護などの理論活用 (大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己効力感について学習する。</li> <li>・成人期にある患者の教育について学習する。</li> <li>・家族を視野に入れた看護について学習する。</li> </ul>	<p>題達成時間 60分</p>
8	<p>テーマ:継続看護と健康教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続看護の重要性</li> <li>・社会資源の活用</li> </ul> <p>(大嶋)</p>	<p>パワーポイント資料とテキストを用いた講義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続看護について学習する。</li> <li>・「概論」の講義内容を整理し、後期の「方法論」と関連づけて学習できるよう準備を整える。</li> </ul>	

9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既修の疫学、健康と栄養、疾病学、発達心理学、生活と環境、看護理論等の知識、成人の健康に関する社会的課題や政策に関する知識			
テキスト	西和子・岡部聡子編：成人看護学概論 第2版 ニューヴェルヒロカワ			

<p>参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介</p>	<p>看護実践に活かす中範囲理論、メジカルフレンド社, 2010 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 最新版 その他は必要時に授業の中で提示します</p>
<p>授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ</p>	<p>成人看護学の総説です。後期の各論の基盤となりますので、しっかり身につけて下さい。そのためには、授業ごとの復習が重要です。</p>
<p>達成度評価に関する コメント</p>	<p>試験の内容は授業中に提示します。熱心に授業に参加して下さい。</p>